

学校だより

NO. 450

12月1日



品 濃

〈横浜の教育がめざす人づくり〉

自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人

〈学校教育目標〉

夢や希望をもち、自らの生き方を追求する姿勢をはぐくみ、互いの良さを認め合いながら、ともに社会の創造に貢献しようとする態度を養います。

・知 生きて働く知 ・徳 豊かな心 ・体 健やかな体

・公 公共心と社会参画 ・開 未来を拓く志

横浜市立品濃小学校 電話 824-0651 FAX 826-2183

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinano/>

## 世界人権デー

校長 坂井 暢

いよいよ12月、師走である。師走は後を振り向きたくなる時節かもしれない。また1年が過ぎる。その1年1年の積み重ねである「過去」をふと考えさせる力が師走にはある。そう言えば、12月がわずか2日間で終わった年があるのをご存じだろうか。答えは明治5年（1872）年。政府がそれまでの太陰暦を廃し、欧米と同じ太陽暦に切り替えたためだ。旧暦は明治5年12月3日をもって新暦と交代した。この年は12月2日で終わり、翌3日が明治6年1月1日となった。この改暦が発表されたのは、わずか1ヶ月前で、あまりにも突然のことで当時の人は相当慌てたことだろう。すでに翌年の暦が刷り上がっており、多額の損害を被った業者もいたそうだ。しかし、これで日本の暦が世界基準になったわけで、12月3日は「カレンダーの日」とされている。

さて、話は大きく変わるが、12月10日は「世界人権デー」であり、12月4日から12月10日の1週間は人権週間である。では、人権週間はどのようにして決まったのか。そのきっかけは、1948年の国際連合の第3回総会にある。国際連合の前身は国際連盟である。この国際連盟には強い権限がなく、その権限の弱さが第2次世界大戦を引き起こす一つの要因になったともいわれている。そこで、その反省を鑑みて戦後結成されたのが国際連合である。その第3回総会で「世界人権宣言」が採択され、その2年後の1950年に、世界人権宣言が採択された日を「世界人権デー」として定められた。日本が、人権週間を定めたのは、実は、1949年で国際連合で人権デーが定められるよりも前のことだった。法務省では、毎年の人権週間において、啓発活動重点目標を定めている。2021年の人権週間のスローガンは『「誰か」のことじゃない』である。人間は1人1人みんな顔も違い、考えていることや思っていることも違い、年齢も、性別も生まれた国も違う。しかし、その違いを認め合い、お互いに尊重しあって生活することが大切である。このことは、今一度、子どもたちにも考えてもらいたいと思う。

○考えや思いが違うからといって、仲間はずれにしない。

○男だから、女だからといって差別しない。

○人を傷つける言葉を言う、暴力をふるう、人をいじめるという行為は人権侵害であり、絶対に許されないことである。

○子どもでも大人でも、みんな尊い命を持ち、自分の願いや目標に向かって一生懸命に頑張っている人間同士であることを理解する。

横浜市では、人権週間に併せて、12月を「いじめ防止啓発月間」と定め、いじめ防止に向けて様々な啓発活動にも取り組んでいる。いじめの未然防止・早期発見には、大人のしっかりとした目が大切であり、また、子どもたちが主体的にいじめ防止に向けて活動し取り組んでいく事が大切だと考えている。この、「いじめ防止啓発月間」での取り組みも一つのきっかけとして活用し、「誰もが安心して豊かに学べる場」となるよう取り組んでいきたいと考えている。

いじめは、加害者も被害者も不幸になってしまいます。また、人によってとらえ方や感じ方が大きく違うことも認識しておく必要があります。ぜひ、この機会にご家庭でも人権やいじめについてお子様と話し合っ

て頂けたらと思います。  
今月も、よろしくお願いいたします。